

# 立命館経済學

第二十三卷 第三号

昭和四十九年八月

---

## 内 容

### 論 説

『独占資本主義分析』試論……………甲 賀 光 秀 1

### 研 究

タイ地主制下の米価問題……………田 坂 敏 雄 37

### 紹 介

A・ライオンフーフト『ケインズ派経済学と  
ケインズの経済学』(一)……………小 野 進 70  
——貨幣理論の研究——

### 翻 訳

バルヴス『世界市場と農業恐慌』(一)……………大 藪 輝 雄 106  
鈴木 敏 正

共同研究室…………… 135

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論 説

乗数理論の「うそ」と「まこと」……建林正喜

現代巨大生産単位の生産方式……坂本和一

——現代の大量生産方式について——

現代自主管理論と民主主義の諸

問題……津島陽子

——バンカール民主主義論——

紹 介

L・G・レイノルズ『経済学の

三つの世界』……小野進

発行所 立命館大学経済学会

論 説

現実資本と貨幣資本の現代的発現……小牧聖徳

——社会的動向と主体的発現——

アジアの生産様式の

基本的構造について……杉野 園 明

紹 介

カール・B・ターナ『ソヴェートに

おけるケインズ批判の変遷』(一)……小野進

書 評

坂本和一著『現代巨大企業の

生産過程』……若林洋夫

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会